

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(芸術) 科目名(書道 I) (2)単位 (1)学年 履修規定(選択必修)
 担当者(齋藤 清)

1. 教科書、副教材

教科書	光村図書「書 I」
副教材	

2. 科目の達成目標

書道の各分野を通じて豊かな人間性や社会性を身につけさせ、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。書道の各分野を通じて書道を愛好する信条を育てるとともに、創造的な表現と、鑑賞する能力を育成する。

3. 学習の計画

		進行計画	授業概要	考査範囲		時間 (予定)
前期	4月	書道概要	書写と書道の違い	第1回	仮名の技法が習得出来たか	10
	5月	仮名の書の学習	古筆の臨書 変体仮名の習得 半懐紙への制作			
	6月	篆刻の学習	氏名印の創作	第2回	篆刻の技法が習得できたか	10
	7月					
	8月	楷書の学習	初唐の楷書の臨書 北魏の楷書の臨書	第3回	楷書の技法が習得できたか	14
	9月					
後期	10月	行書の学習	行書による創作 蘭亭序の学習	第4回	行書の技法が習得できたか	14
	11月					
	12月	漢字仮名交じりの書の学習	俳句などによる作品の創作	第5回	漢字仮名交じりの書の技法が習得できたか	12
	1月					
	2月	漢字仮名交じりの書の創作	現代詩やことわざによる作品の創作		隷書の技法が習得できたか	10
	3月	隷書の学習	隷書の臨書および創作			
評価の 観点・方法		<ul style="list-style-type: none"> ・芸術に興味や関心を持って授業に取り組むことができたか ・感性を働かせて書のよさを感じ取り、自らの意思に基づき構想し表現できたか ・創造的な表現をするために、書写能力を高め、用具用材を生かした表現の技法を身につけたか 				
学習への 注意・助言		書は誰にでもできる芸術です。「書は人なり」といわれているように、書く人の心情が端的に表れる芸術でもあります。文字の形は少く崩れていても、十分に鑑賞できる作品はたくさんあります。数千年に及ぶ長い歴史の中の中国の書や、日本の先人が遺してくれた素晴らしい名筆を習いながら通じて技術的に上達し、学問的にも教養として高めていきましょう。書けば書くほど書道芸術がわかってきますし、楽しくなってくるのです。				